



## 問 地籍調査等に伴う、固定資産税への反映について問う

大門・丸之内地区の再開発計画や地籍調査等により、未来を見据えた都市機能の拡充が推進されることになる。土地の状況が変化することにより、固定資産税の評価も変わることになるが、土地の状況変更が評価にどのように反映されるのか。税の公平・公正は確実に担保されなければならないが、都市の未来を考える上で、将来的に土地の状況が変化した場合の課税上の対応について問う。

## 答 市政の財源を担う重要な基幹税目であり、適正な評価に努める

地籍調査の実施や都市の未来を見据えた事業など、都市機能の拡充が推進され、土地の状況が大きく変化していく場合、固定資産税もその変化に応じて適切に評価し、課税する必要がある。地籍調査については、土地の境界が確定されるとともに、土地の分合筆、地積や地目の変更等が地籍調査の成果として不動産登記に反映され、この登記内容に応じて、固定資産の評価に反映させる。都市の未来を見据えた事業については、土地の価格に影響を及ぼすような道路の新設や幅員の変更などが生じた場合、変化した後の状況に応じて、固定資産評価基準に基づき、適正に評価していく。

### その他の質疑・質問

- 地域懇談会の開催について
- 成果と課題、今後についての考えは
- 固定資産税について
- 土地に対する課税の仕組みは
- ボランティア休暇制度について
- 選挙における若年層の投票率向上の強化策は
- ITを活用した新たな方策は **など**

土地の状況が変わった場合の固定資産の適正な評価を



## 問 大門・丸之内地区のインフラ整備の計画は

大門・丸之内地区について、令和5年1月20日の市議会全員協議会において、水道や下水道などの生活インフラの更新、道路整備、無電柱化、街路の段差解消などのバリアフリー化、バス駐車場の整備を未来ビジョンにしっかりと位置付けるよう提案したが、整備の計画はどのようになっているか。

## 答 未来ビジョン等に位置付けを行い、着実に進めていく

提案いただいたことについては、未来ビジョンの施策例やロードマップに位置付けを行うとともに、水道や下水道といった生活インフラについては、津市の各部局において、個別の実施計画に基づき着実に進めていく。

令和5年度は未来ビジョンの実現に向けて設立する（仮称）大門・丸之内エリアプラットフォームにおいて、立町通り・大門大通りにおける道路空間を活用した実験的な取り組みを行う予定である。この取り組み結果を踏まえた将来的な道路整備に当たっては、無電柱化やバリアフリー化についてもその手法を検討していく。

### その他の質疑・質問

- 旧津市社会福祉センター除去の進捗状況は しんちよく
- 津市の脱炭素行動の推進について
- ネーミングライツの推進を
- 映画ロケ地としての取り組みは
- 人口減少対策会議の設置と今後について

完成した「大門・丸之内地区未来ビジョン」

